

ID

患者氏名

ご家族の皆様へ

私達緩和ケア病棟スタッフは、患者さんの痛みなどの苦痛が緩和され、患者さんが望む外泊や外出や病棟行事への参加など、患者さんご家族にとって意義ある日々を送ることが出来ますようお手伝いさせていただきます。緩和ケア病棟での医療内容は、一般病棟と異なることから以下の項目についてお考えを確認させていただきます。

1.がん末期で余命が月単位未満となられ終末期と呼ばれる時期には、高カロリー輸液や通常の維持輸液はできるだけ避け、水分を絞った方が楽になります。終末期のお体（がん性悪液質といいます）に合せた、無理のない治療が必要になります。

同意します 同意しません

2.がん末期で余命が月単位未満となられた時期には、それまで有効であった胸水穿刺や腹水穿刺による胸水、腹水の排液が却って体の衰弱を惹き起し、死を早めてしまうこともあるので行ないません。

同意します 同意しません

3.がん末期の症状を緩和する薬剤、例えばモルヒネなどを使うことを考慮します。モルヒネなどの医療用麻薬を適切に使用することでお体が楽になります。死期を早めたり、錯乱状態になる事はありません。

同意します 同意しません

4.緩和ケア病棟では、無理な延命治療は致しません。心臓マッサージや人工呼吸器に繋ぐことも致しません。また輸血もがん末期では効果が無く副作用が出やすいため行ないません。

同意します 同意しません

5.緩和ケア病棟では状態に依り体温・血圧・酸素飽和度など測定しますが、心電図モニターはありません。ご家族との時間を大事にできるように環境を調整しその都度状態をお伝えします。

同意します 同意しません

6.CT や MRI 等の新たな画像検査も、症状緩和に寄与することが余りなく、移動や検査の姿勢が負担になりますので行ないません。

同意します 同意しません

家族氏名 _____ 続柄 _____

年 月 日

緩和ケア病棟